プロレタリア戦線

プロレタリア学生同盟市大支部
政治局理論委員会発行
創刊号
'69.4.1

プロレタリア学生同盟市大支部結成宣言

〔民主々義学生同盟 左派〕

プロレタリア国際主義の旗高く、世界反革命ブロックを破砕し、帝国主義的支配構造の心臓部にプロレタリア陣地を築け

□、世界資本主義の第四の危機訪れくる世界資本主義の最後の危機になるであろう。否、そうならせるであろう。六十年代後半から七〇年代への危機と激動の新しい時代〃へわれわれは历史の第一歩を刻印せんとしている。

革命は大衆を教育すると同時に政治指導部をも教育する。われわれは革命か反革命かの選択を 革命的言辞をもって回避することは許されないだろうし、第四の危機の時代における七〇年安保斗争を全世界と日本を総体的に獲得せんがために、永続的、革命的に斗わんとするわれわれが、自らの厳しい自己点検を怠たることは許されないであろう。

われわれは、社革左派（＝民主々義学生同盟左派）としてあった自らの綱領的、実践的立場を厳しく総括し、生命をかけた飛躍を行うことによって、「プロレタリア国際主義の旗高く、世界反革命ブロックを破砕し、帝国主義支配構造の心臓部に、強固なプロレタリア陣地を築」く、文字どおり「重い重い」历史の任務に自ら荷すことを決意し、今、プロレタリア学生同盟結成の宣言を高々に行う。

□ ベトナム革命を突破口にし、また突系にするなら、激動する国際階級斗争の的は、「危機と激動の新しい時代」の到来を告げ、世界資本主義の最后的危機から、プロレタリア世界革命の序曲をかきならしている。

〃労働者の生産管理＝生産の主人公〃の強力な志向性に貫ぬかれるフランス全土を揺るがしたフランス五月革命。現代帝国主義世界体制の心臓部に「合衆国国内部の植民地」を解放する世界的斗争の一環としての「ブラック、パワー」。資本主義大国の階級性を鋭く暴露、告発し、それの組み込みを一切拒否し、ブルジョワ大学の廃絶をめざす全世界的な反戦的学生運動の波、etc……明らかに五〇年代から、六〇年代前半にかけてのアメリカ的世界体制の強固な枠組みの中での〃平和共存〃的国際関係の展開による世界の「安定的発展の時代の終りを示し、ドル危機を基底とし、ベトナム革命をその内実化のバネにした国際階級斗争は、先進国危機と後進国危機を相互に結び合わせ、危機の世界性、同時性を全体的に突きだしている。正に激動の世界史的展開へ移行しつつある過渡期における、プロレタリア国際主義の旗をかかげる全世界の革命全体の任務。

。七〇年安保斗争は、かかる帝国主義の世界的危機の深刻な特徴につき動かされた日帝の侵略的に帝国主義的支配構造を再編せんとする、政治的、軍事的戦略との真向からの対決として、国際階級斗争の環を形成するものとして把握されねばならない。

七〇年斗争は、七〇年代の世界史的過程に再編される、国際的反革命ブロックの一環としての日米階級ブロックを破砕し、日帝の階級支配の国際的主権をマヒさせ、同時に安保推進下で進行する帝国主義的、国内階級支配の暴力構造を弱化させることにより、日帝を世界革命の一環として打倒するための日本階級斗争の新たな地平を切り拓くことに他ならない。

□ かゝるすぐれてプロレタリア国際主義的内容をもつ七〇年斗争は、日帝との激烈な階級攻防戦の中で、日本階級斗争の历史的転回軸としての重みを質変化しており、いまや社会主義革命の前史としての激動と、それにふさわしい変革主体を必然的に形成しつつある。

七〇年危機＝七〇年代危機は、ベトナム＝ドル危機に主導され、そこを起点にした誘導＝波及の回路と連鎖を通じて、あるいは政治危機として、あるいは社会危機として、あるいは経済危機として発現しつつも、その国際的、国内的支配の全体系のなかで、それらの連続的、相乗的な発展性を秘めている。

六八年〜六九年の東大、日大